

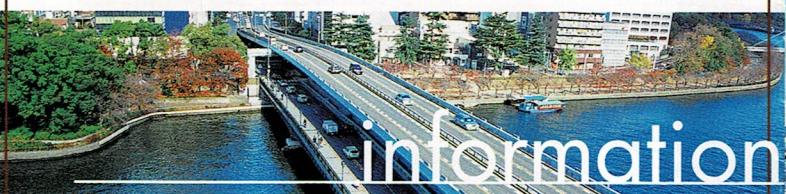


大阪市

■インフォメーション

大阪市

- 建設局道路部橋梁課
TEL 06(6615) 6818 <http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/>
- ゆとりとみどり振興局
TEL 06(6469) 5123 <http://www.city.osaka.lg.jp/yutoritomidori/>
- 交通局
TEL 06(6582) 1400 <http://www.kotsu.city.osaka.jp/>
- 財団法人 大阪観光コンベンション協会
TEL 06(6282) 5900 <http://www.octb.jp/>
- 大阪市ビジターズインフォメーションセンター
梅田:TEL 06(6345) 2189
難波:TEL 06(6631) 9100
天王寺:TEL 06(6774) 3077
新大阪:TEL 06(6305) 3311



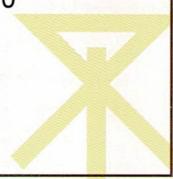
●発行 ●大阪市建設局 ●平成23年12月

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10

ATCビルITM棟6階

TEL 06-6615-6818 (橋梁課)

<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/>



中之島の空撮



桜之宮公園一源八橋・大川



京セラドーム大阪・岩松橋・民無川

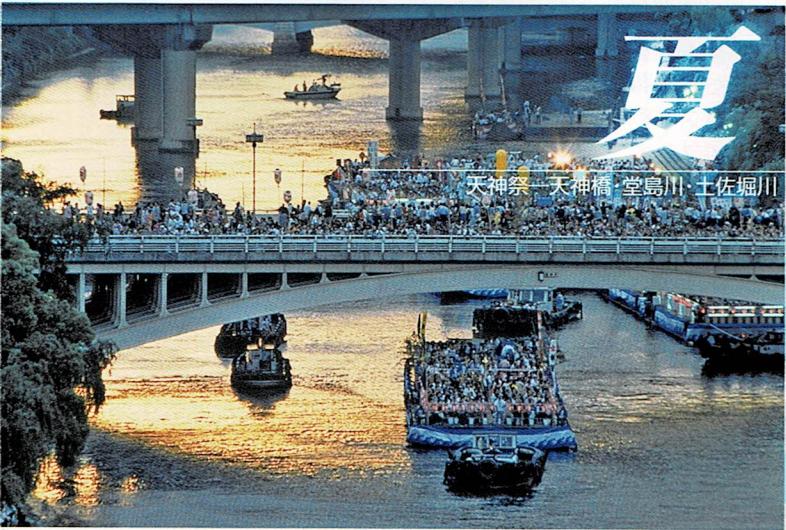
大阪は、淀川や大和川の河口部に発達してきたまちで、多くの川や堀が流れ、古くから「浪華八百八橋」と呼ばれるほど多くの橋が架けられてきました。これらの橋は、商都大阪に暮らす人々にとって、日々の生活や町の発展を支える重要な役割を担ってきました。

かつて大阪商人の経済活動を支えた橋は、時とともに姿を変えながら、当時の活気を今に伝えるかのように、現在のまちに息づいています。

大阪の橋は、川を渡るだけでなく、歴史を今に伝え、街の景観を織りなすなど、その役割は多岐にわたり、さまざまな橋が水都大阪を語る上で欠かせない存在となっています。



四季折々の橋



ライオン橋

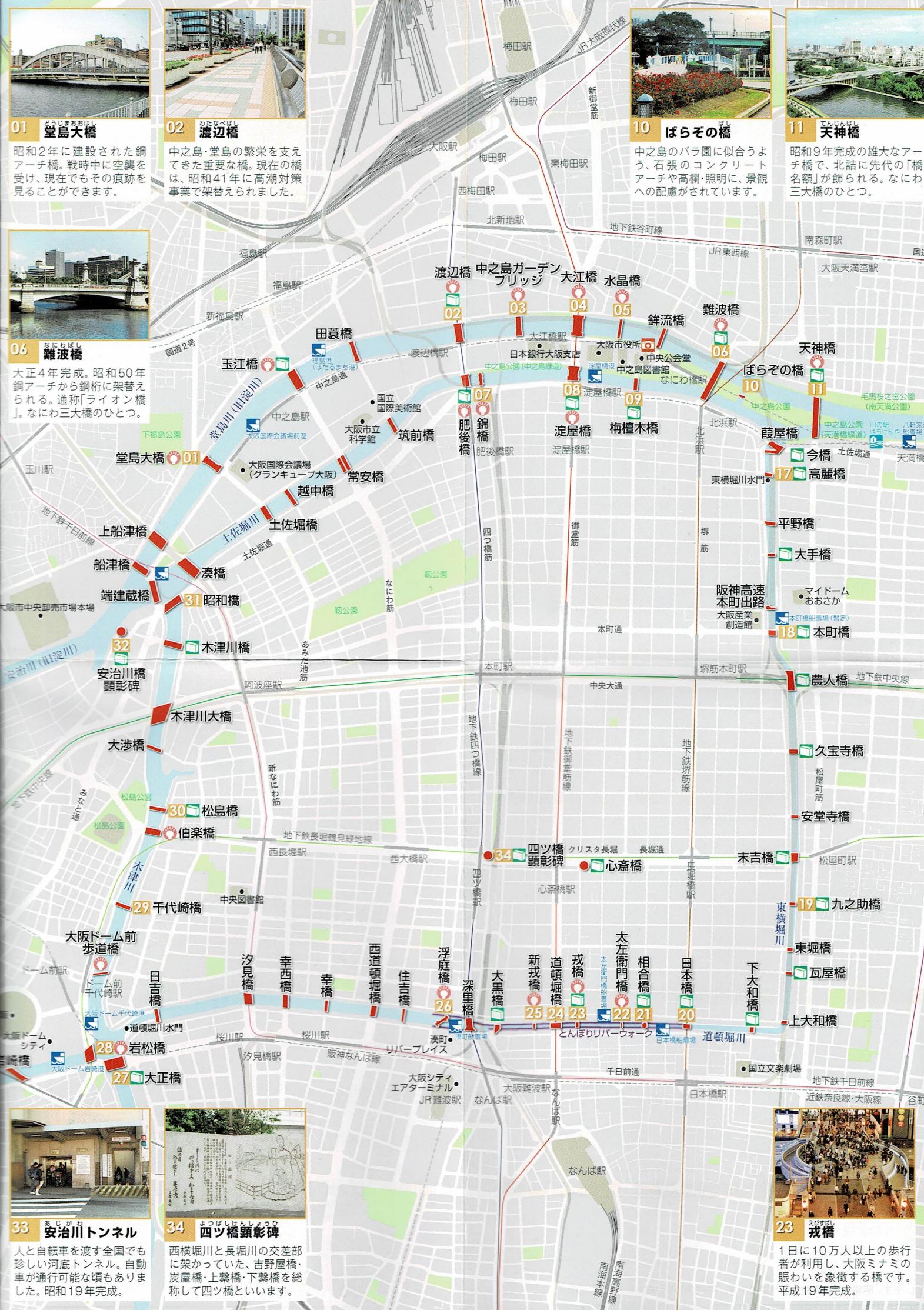
みんな知っているそうで、
実は知らない話



大阪の橋
あれこれ

Naniwa 808 Bridges

Naniwa 80

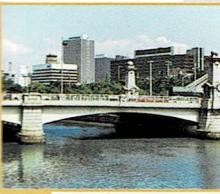


01 堂島大橋

昭和2年に建設された鋼アーチ橋。戦時に空襲を受け、現在でもその痕跡を見ることができます。

02 渡辺橋

中之島・堂島の繁栄を支えてきた重要な橋。現在の橋は、昭和41年に高潮対策事業で架替えられました。



06 難波橋

大正4年完成。昭和50年鋼アーチから鋼桁に架えられる。通称「ライオン橋」。なにわ三大橋のひとつ。

玉江橋

中之島通

堂島川(玉造川)

下福島公園

中之島駅

文政国际合作場前港

中之島通

大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

常安橋

越中橋

土佐堀川

土佐堀橋

土佐堀通

なにわ筋

大阪城と橋

大阪城は、天守閣を中心とした複数の城郭構造で、その周囲には多くの橋が架けられています。このページでは、大阪城周辺の主要な橋を紹介します。

大阪城周辺の橋

- 12 天満橋 (昭和10年完成)
- 13 川崎橋 (夜にはライトアップ)
- 14 桜宮橋 (新桜宮橋)
- 15 源八橋 (通称「銀橋」)
- 16 大阪城新橋 (昭和58年完成)
- 17 高麗橋 (江戸時代の公儀橋)
- 18 本町橋 (大阪で現存する最古の橋)
- 19 九之助橋 (江戸時代の町橋)
- 20 日本橋 (紀州街道の要所)
- 21 相合橋 (江戸時代の茶屋街)
- 22 太左衛門橋 (橋名は芝居小屋)
- 23 道頓堀橋 (御堂筋が道頓堀川を渡る)
- 24 新堀川橋 (高欄に和紙)
- 25 浮庭橋 (湊町リバーブレイスと南堀江を結ぶ)

水の回廊 おすすめ写真スポット

水の回廊周辺には、橋を題材にステキな写真の撮れる場所がたくさんあります。その中でも代表的なスポットを二つご紹介します。

大阪城周辺

「大阪城と橋」を撮るなら、新鴨野橋がおすすめです。かつてこの場所には公儀橋の鴨野橋が架かっていましたため、新鴨野橋の高欄にも擬宝珠が飾られています。その他にも大阪城公園内の極楽橋など、撮影場所に困ることはあります。

中央公会堂周辺

中央公会堂の周辺には、重要文化財の大江橋・淀屋橋や水晶橋、難波橋などの歴史ある橋だけでなく、中之島図書館や日本銀行大阪支店をはじめとした、レトロ感あふれる歴史的建造物も多数現存しています。橋と建築物をテーマにした写真を撮るには、一番おすすめの場所です。

心斎橋 ~転用と保存~

江戸初期、岡田心斎らにより架けられたとされる心斎橋は、木橋のため洪水や火災の度に架替えが繰り返されました。明治6年、日本で5番目の鉄橋として架えられ、以後、境川橋・新千舟橋・篠懸橋と場所と名前を変え転用され、現在は鶴見緑地に日本最古の鉄橋として緑地西橋の名で保存されています。明治42年、心斎橋は石造2連アーチ橋に架替えられましたが、当時の高欄とガス灯は、今も現地でその姿を見ることができます。

浪華八百八橋

水の都一大阪に橋はいくつあるの?

「浪華八百八橋」と言われますが、実際に橋の数が808橋あるのではなく、数が多いとえに使われたようで、江戸時代は200橋程度でした。昭和30～40年代にかけて、およそ1,500橋を数えた頃もありましたが、川や運河が埋め立てられ、橋の数は減少しました。現在、大阪市建設局では764橋(平成21年)を管理していますが、国や府などが管理する橋をあわせると、808橋を超える橋が存在します。

橋の番付表(錦橋北詰)

ベイエリア 浪華八百八橋マップ



map

●凡例

橋梁

渡船場

ライトアップ

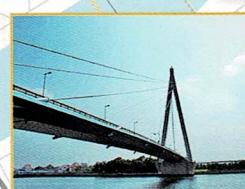


N

0m

500m

1,500m



01 つねよしおおはし
常吉大橋

舞洲と常吉地区を連絡する橋で、支間長250mは非対称の斜張橋としては国内最大級です。平成11年完成。



02 このはなおおはし
此花大橋

世界的にも例のない、斜めハンガーを用いたモノケーブル自碇式吊橋で、平成2年に完成しました。



03 うめまちおおはし
梅町大橋

USJの西隣に位置し、梅町水路をひと跨ぎにするラーメン橋。平成元年に完成しました。



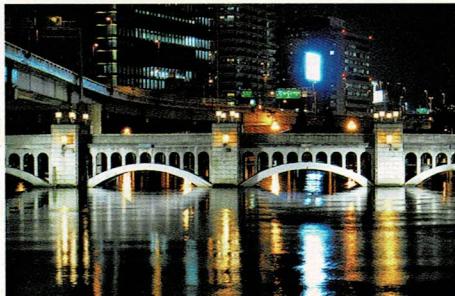
ライトアップ

夜はいっそう美しく

水の回廊、ベイエリア、淀川の各地域の代表的な橋は、日没から22時までライトアップされています。夜の都市景観を演出することで、市民だけでなく大阪を訪れる人々にも、昼とは違う美しい大阪の夜をご覧いただけます。

水晶橋 (水の回廊)

ライトアップされた優雅な橋の姿は、中之島で最も印象的かもしれません。



此花大橋 (ベイエリア)

大阪港の夜景に彩りを添えています。橋上からの夜景も一見の価値あります。



豊里大橋 (淀川)

夕日に浮かぶ橋の姿は、淀川を代表する景観のひとつになっています。



好きな橋ランキング

アンケート結果

大阪市民が好きな橋について、538名に市民アンケートを実施しました(複数回答)。

その結果、第1位に輝いたのは、市民にライオン橋の愛称で親しまれ、古い歴史をもつ『難波橋』(169人)でした。

1位	難波橋	169人
2位	戎橋	93人
3位	水晶橋	91人
4位	豊里大橋	59人
5位	淀屋橋	56人

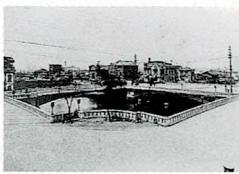


難波橋

駅名になった橋

橋はなくても名を残す

大阪の橋はまちと密接な関係にあり、今日でも、「淀屋橋」「心斎橋」「鶴橋」などのように、駅名や、地名に橋の名前が多く使われています。



昭和初期の四ツ橋

地下鉄四ツ橋駅

西区

四ツ橋
よつばし
Yotsubashi

ほんまち Honmachi

なんば Namba

昔、ここには川が流れ
4つの橋が交差してい
たことから四ツ橋の
名前が付きました。

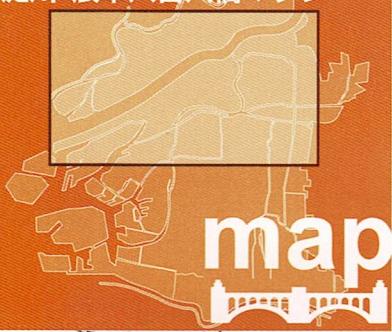
※緑字:現存していない橋

地下鉄	JR	私鉄
朝潮橋	京橋	心斎橋
鶴橋	天神橋筋6丁目	芦原橋
長堀橋	西大橋	阿倍野橋
肥後橋	日本橋	大江橋
四ツ橋	淀屋橋	京橋
		千鳥橋
		鶴橋
		天満橋
		なにわ橋
		淀屋橋
		渡辺橋

淀川・浪華八百八橋マップ



N
0m 500m 1,500m



01 豊里大橋

02 普原城北大橋

万国博覧会の関連事業として整備された近代的なデザインの斜張橋で、支間長216mは当時の日本最長。

大阪市ではじめての有料橋。天然記念物イタセンバラなど環境へ配慮した設計が施されました。



橋を見ながらサイクリング

淀川沿いを

気持ちよく自転車で

淀川左岸から大川沿いには、中之島公園から万博記念公園まで、約20kmのサイクリングロード「北大阪周遊自転車道」が整備されています。淀川右岸から神崎川沿いには、「なにわ自転車道」の整備もされており、橋を見ながらのサイクリングが楽しめます。



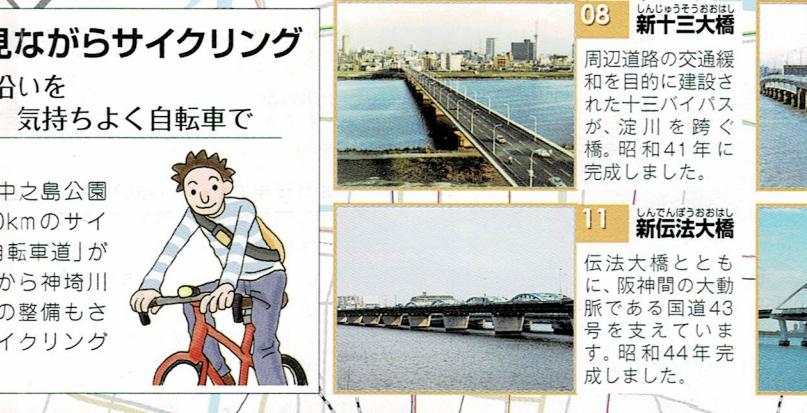
08 新十三大橋

周辺道路の交通緩和を目的に建設された十三バイパスが、淀川を跨ぐ橋。昭和41年に完成しました。



11 新伝法大橋

伝法大橋とともに、阪神間の大動脈である国道43号を支えています。昭和44年完



上方文化の担い手であった近松門左衛門は、作品の中で橋を効果的に描き、当時の橋の姿を知る貴重な資料となっています。

川端康成も、住吉大社の反橋を題材にした小説「反橋」を発表するなど、橋は文学作品の舞台にもなっています。



■住吉大社の反橋

川端康成

反橋(住吉区)

お
り
る
よ
り
も
上
が
い
方
か
が
す
こ
は
い
の
も
の
で
す



春は花見、夏は納涼、秋は月見、冬は雪見と、古くから人々は橋に集い、憩いの場、賑わいの場として利用されてきました。

現在でも、祭やイベントの際には多くの人が賑わい、昔と変わらない熱気に満ちあふれています。

橋にまつわる祭りやイベント

船乗り込み

時期:6月末～7月初旬
場所:中之島～道頓堀川

■船乗り込み

天神祭

時期:7月25日(船渡御)
場所:中之島・大川周辺

■天神祭のにぎわい

なにわ淀川花火大会

時期:8月初旬
場所:淀川河川敷

■夜空に上がる花火

OSAKA光のルネサンス

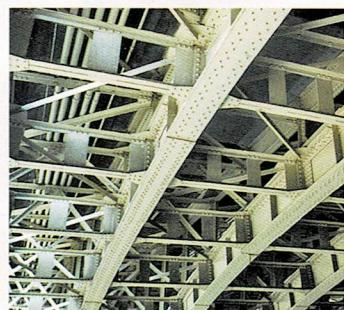
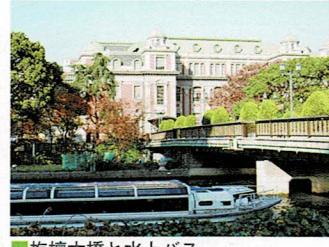
時期:12月
場所:中之島界隈

■光のルネサンス

橋の役割

橋を下から見上げると

橋は人や車を対岸に渡すだけではありません。水道・ガス・電力・電話線などのライフラインも通し、都市機能を支えています。



■天神橋を見上げると

船で橋をくぐるときには、橋の裏側を見上げてみてください。

大阪の橋
あれこれ

Naniwa 808 Bridges

つるのはし

歴史に登場する

日本最古の橋が大阪に！

歴史に登場する日本最古の橋の記述は、日本書紀に「猪甘津に橋为す即ちその處を號けて小橋と曰ふ」と記されたのが最初とされています。

この小橋が存在した「猪甘津」は生野区付近と想定され、周辺には「猪飼野」「小橋」という地名が残り、猪甘津の橋跡と伝えられる「つるのはし跡」の石碑や由来碑が建てられています。



「つるのはし跡」の石碑

大阪の橋 ～いまむかし～

まちの歴史は橋とともに

古代・中世の橋

大阪の橋の歴史は、仁徳期の古墳時代までさかのぼることができます。

以後、奈良・平安・鎌倉・戦国期と橋は歴史書や伝説にたびたび登場しますが、多くは謎に包まれています。



仁徳期の大阪（5世紀頃）

近世の橋

豊臣秀吉の大坂城築城とともに、東西両横堀川が開削され、さらに江戸時代に入り道頓堀川が開削されると、数多くの橋が架けられ、「浪華八百八橋」と謳われるようになりました。



浪速天満祭 大阪府立中之島図書館蔵

近代の橋

明治維新とともに西洋文明が流入し、木橋から鉄橋への転換が始まりました。

大正から昭和にかけ、市電の発達や第一次都市計画事業によって、その優美な姿を現代に伝える名橋が次々と建設されました。



高麗橋（大阪初の鉄橋 明治3年）



浪花繁栄東堀鉄橋図 大阪府立中之島図書館蔵

現代の橋

戦後、モータリゼーションの発達と橋梁技術の進展を背景に、淀川・大和川やベイエリアでは最先端の技術を駆使した長大橋が建設されました。

近年、代表的な橋の顕彰やライトアップをはじめとした修景整備なども行われてきています。



なみのはや大橋・港大橋 ベイエリア

橋洗い

橋は市民の貴重な財産

大阪の橋は、市民と地域にとって貴重な財産です。

地域の方々が主体となった清掃活動などにより、橋は人々から愛され美しい姿を保つとともに、まちの賑わいや活性化につながっています。



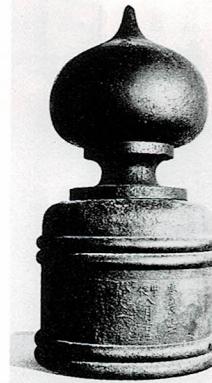
中之島ガーデンブリッジの橋洗い

公儀橋と町橋

江戸時代、橋は交通の要となり幕府が直轄管理して擬宝珠を付けた「公儀橋」と、有力商人や近隣の町々が管理する「町橋」に分けられました。大阪には「公儀橋」が12橋と江戸に比べて非常に少なく、大半は「町橋」でした。



高麗橋 大阪府立中之島図書館蔵



高麗橋の擬宝珠



築地蟹島（今橋） 大阪府立中之島図書館蔵

デザインコンペ

道頓堀川の水辺遊歩道整備を進めると共に、戎橋と浮庭橋の建設にあたっては、広く一般の方々からデザインを募るデザインコンペが実施されました。

● 戻橋

市民が望む橋のアンケートを実施した後、デザインコンペを実施し、橋上広場の劇場性とバリアフリーの両立がなされたデザインが採用されました。



戎橋 最優秀作品

● 浮庭橋

“浮かぶはらっぱ”をイメージした、緑豊かなデザインが採用されました。あわせて橋名も一般公募し、デザインコンセプトをうまく表現した名前に決まりました。



浮庭橋 最優秀作品

顕彰碑

橋の由来をもとめて

歴史や文化、市民生活と関わりの深い橋には、橋のたもとに由来などを記した顕彰碑を設置しています。

橋を通して大阪の歴史を振り返ることで、橋と人との関わりを再確認することもできます。

このマップを手に、橋めぐり・橋あるきをされてはいかがでしょうか。

難波橋



江戸時代の錦絵や明治時代の写真が飾られ、当時の様子をうかがうことができます。

木津川橋



江戸時代から現代までの橋の変遷が錦絵と共に記され、歴史をさかのぼることができます。